

明けましておめでとうございます。干支の動物の中で一番ゆっくりと動く牛。丑年は、先を急がず一步一步着実に物事を進めようとするそうです。健康な体にも、毎日の積み重ねが大切です。今日からゆっくり、しっかり元気な体作りをしていきましょう。

家の中の思わぬ危険 乳幼児のやけど事故にご注意

乳児期は、寝返りからハイハイ、つかまり立ちから歩行へと、心身の発達に伴い、行動範囲が広がります。様々な状況でやけどを受傷することがあります。子どもがやけどで泣くと、大人であっても気が動転してしまい、冷静に対処できないと思いますが、**ポイントは**

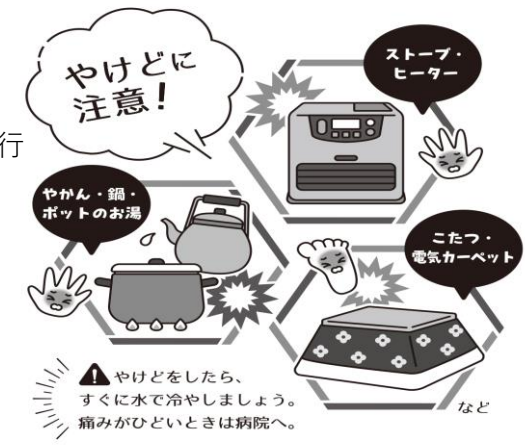
『冷やす・五分以上冷やし、受診する』ことです。それまではぬれタオルで冷やします。やけどの重傷度は原因物質の熱さと接触時間で決まります。

①いかに早く冷やすことができるか
②熱い物質からすぐ離して冷やすこと

悪くならない為のポイント

早く冷やすことで痛みを軽くし、組織の損傷を抑えることができます。服の上からの場合は、脱がそうとせず、**まず冷やします**。

民間療法は感染や皮膚炎を合併しますので、冷やした後はきれいなタオルなどで覆い、アイスノンや氷嚢で冷やしながらか病院に行き治療を受けましょう。



カゼ
インフルエンザ
新型コロナ

大切なのは 一人ひとりの やさしさと おもしろいやり